将来像とゾーニングイメージ

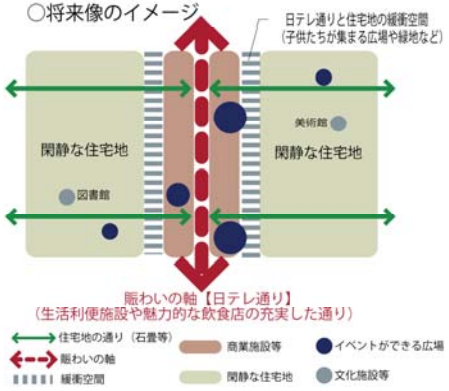
第3回委員会資料

委員会で議論した番町麹町地域の将来像とゾーニングイメージは下記のとおりです。

○将来像について

・「商業的な賑わい」と「イベントなど人の賑わい」があるまち
・スーパーなどの生活利便施設が充実したまち
・子供達が集まって、まちの未来について考えるようなまち
・エリアで色分けされたまち（通りは賑わい、住宅地は閑静な環境）
・日テレ通りと住宅地の間には住宅環境を守る緩衝的な空間の整備
・今ある資源も活用して賑わいを拡げていく仕組み
・公開空地を作るときに地域のイベントに開放する仕組み
・イベントができる場所がたくさんあるまち
・ミュージアム等、通りから人を引き込むまち
・歴史・文化を尊重したまち
・魅力的な飲食店を誘致できるまち

○将来像のイメージ



～日テレ通りにふさわしい賑わいの例～

第3回委員会資料

委員会で議論した通りにふさわしい賑わいのイメージは下記のとおりです。

沿道の商業施設

番町地区にふさわしいのは？ ＜

広場の賑わい

番町地区にふさわしいのは？ ＜

通りの賑わい

番町地区にふさわしいのは？ ＜

日テレ通りまちづくり委員会
活動中間報告

私ども「日テレ通りまちづくり委員会」は、番町麹町地域の品格ある住宅地と先進的な業務商業地の調和を目指したまちづくりを推進すべく、昨年12月に活動を開始しました。委員会では、「地域の現状課題」や「日テレ通りを中心とした番町麹町地域の目指すべき将来像」について議論を重ね、本年６月には地域のお住まいの方々やお勤めの方々に日ごろから感じている現状の問題点やこれからのまちづくりの方向性などについてアンケートを行い、広く意見をお伺いさせていただきました。

本活動報告は、これまでの委員会での議論内容とアンケート結果を委員会の活動成果として、取りまとめたものです。

今後、本活動報告を基に関係各所と連携を図りながら、地域の課題解決を図り、日テレ通りを中心とした番町麹町地域のよりよいまちづくりを具体化していきたいと考えております。

平成28年9月

日テレ通りまちづくり委員会
構成　二番町町会
四番町町会
五番町町会
六番町町会
麹町三丁目町会
麹町四丁目町会
日本テレビ通り振興会

～日テレ通りまちづくり委員会の活動経緯～ （今回の中間報告まで）

平成27年	12月	準備会	公益財団法人まちみらい千代田へアドバイザー派遣依頼
平成28年	2月	第1回委員会	まちの課題の抽出、会則案の検討
	3月	第2回委員会	まちの将来像の検討、会則案の承認、アンケートについて
	4月	第3回委員会	まちの将来像の検討、アンケートについて
	5月	第4回委員会	アンケートの実施方法について、今後の進め方
	6月	【アンケート実施】	
	7月	第5回委員会	アンケート結果、日テレ通りまちづくり委員会活動中間報告について
	9月	第6回委員会	日テレ通りまちづくり委員会活動中間報告とりまとめ

上位計画の位置づけ

千代田区都市計画マスタープラン
千代田区まちづくりグランドデザイン

【番町・麹町の将来像】

住宅と業務空間が共存調和するまち

・落ち着いたたたずまいの住環境を大切にし、住宅と業務空間が共存調和するまち
・空間的なゆとりや景観的なうるおいを備えた質の高い住環境と快適な業務空間が共存・調和したまち
・若者からお年寄りまで、多様な世代にとって魅力あるまち

【日テレ通り】

店舗が並び広場も備えた個性と魅力あるまち

・既存の商店を活かし、中高層の建築物の低層部に生活利便のための店舗が並び、憩いや集いの広場も備えた個性と魅力あるまちづくり

【二番町・四番町周辺】

文化発信・交流のエリア

番町麹町地域の方向性と日テレ通りの役割

【日テレ通りを中心とした番町麹町地域の方向性】

ここにしかない歴史・伝統の文脈を受け継ぎ、
良質な文化、環境、コミュニティが成長し続けるまち

ポイント1　過去から未来へ

①江戸時代から続く番町の歴史・品格の継承
②受け継ぐ地域文化・コミュニティの再形成

ポイント2　良質な環境の創造

①閑静な住環境の維持と業務・商業地との調和
②緑豊かで、安心安全の歩行環境づくり
③生活をサポートする施設の充実
④地域コミュニティをサポートする拠点づくり

ポイント3　住み続けられる街へ

①マンション建替、相続などの課題への対応

日テレ通りの役割とは？

【日テレ通りの将来のイメージとして相応しいと思う言葉】

1位 品格・品位　3位 伝統的
2位 文化的　4位 大人

【日テレ通りにあったらいいと考える施設】

1位 スーパー　5位 図書館
2位 レストラン　6位 美術館
3位 文化施設　7位 クリニック
4位 物販店　8位 高級ホテル

【番町麹町地域に長く住み続けたいか】

住み続けたい　92%

「まちづくりアンケート」より

【日テレ通りの役割】

番町の各地域をつなぐ事で、魅力溢れる番町地域の発展を支える役割

地域の課題

委員会で抽出した地域の課題

1）通りについて
歩道が狭い、電線の地中化
通りが暗い、照明が悪い
見通しが悪い、違法駐輪が多い

2）広場について
使いにくい公開空地が多い
イベントができる広場が不足
緑が少ない

3）開発について
魅力的な飲食店や店舗が必要
マンションの建替えが進んでいない

4）コミュニティについて
町会の存続が危うい、後継者がいない
コミュニティの場が少ない
高齢者が気軽に出かけられる場所が少ない

5）まちづくり制度について
将来像に沿った地区計画が必要
駐車場仏義務は不要
住宅付置義務は不要

アンケート結果から抽出した課題

【地域の不満項目】

1）利便性
日常品が買いにくい
普段の飲食がしにくい

2）公園や緑の量
公園の充実度
まちにある緑の量と質

3）生活道路の安全性確保
歩道や車道の狭さ

ただし、総合的に住環境は満足

【日テレ通りの不満項目】

1）利便性
日常品が買いにくい
店舗の充実度（数、サービス）
外食がしにくい
麹町駅のバリアフリー対策

2）公園や緑の量
公園の充実度
街路樹などの緑の量と質

3）通りの景観
建物の景観（街並みや圧迫感等）
道路の景観（舗装、サイン）
通りの個性

4）日テレ通りの安全性確保
歩道が狭い
路上駐車が多い

日テレ通りに対する不満は大きい。
地域の不満項目は、日テレ通りの不満に包含されている。

日テレ通りの将来像

番町の各地域をつなぐ事で、
魅力溢れる番町地域の発展を支える役割

1）交流を促す広場等を備えた、番町地域の顔となる通り

・これまで培われたコミュニティを受け継ぎ、育むとともに、様々な交流を促す広場のある通りを目指します。
・江戸時代から続く番町の歴史性を背景に、文化の薫りのする施設が新たに立地するなど、様々な文化交流が進む通りを目指します。
・通りの景観や看板に統一性があるなど、上質な街並みを目指します。

2）住宅地と共存調和し、生活利便性の良い賑わいの軸

・快適な業務商業空間を形成するとともに、後背地の質の高い居住機能との共存調和を図ります
・日テレ通りは賑わいの軸として、企業集積のみならず、個性があり魅力的な生活利便性の高い通りを目指します。

3）緑が多く、快適で安心して歩ける通り

・歩道にゆとりがあり、豊かな緑が感じられるなど、快適な歩行者空間のある通りを目指します。
・バリアフリー化され、誰もが安心して歩ける通りを目指します。

4）住民と企業が育てる愛着のある通り

・住民や企業が支え合いながら、広場などの公的空間を維持管理するなど、地域を育てる組織や仕組みを検討していきます。
・日テレ通りの将来像の実現に向けて、地域独自のまちづくりルールを検討するなど、住民と企業が主体となったまちづくりを進めます。